

令和 7 年度

スマートモビリティチャレンジ 採択結果



RoAD to the L4

自動運転等のモビリティサービスの目指すべき姿

- **まずは有人・無人を問わず、地域の特性やニーズに応じた最適なモビリティサービスを早期に実装**することで、**社会受容性向上**や**環境整備**を進めて基盤を固め、**足元の課題に対応**する。
- 同時に、より複雑な交通環境でのサービスを実現すべく、**技術の高度化**や**事業化**を進め、**自動運転等のモビリティサービスの本格的な普及**につなげる。
- それぞれで得られる**成果が相互作用**し、両輪で支え合う。

人流・物流上の社会要請に早期に対応する ビジネスの具体化

MaaSやレベル2以上の自動運転移動サービス早期実装により**社会受容性向上**や**環境整備**が進展
価値のたすき掛けによる**事業化**の可能性追求

現 状

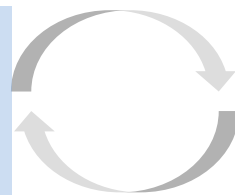
- ✓ 自動運転はイニシャル／ランニングコスト高
- ✓ MaaSはアプリ・システムが各地域に混在。周辺の交通参加者や潜在ユーザーが新たな移動サービスを身近に感じていない
- ✓ バリューチェーン側の付加価値を確保するためのデータ連携の取組が十分進んでいない

課題例

事業性以外の課題解決を優先した実証

短期間かつ小規模の実証が多く浸透しない

データ連携のユースケースを模索中



成果を統合、様々なレイヤーでの
ビジネスモデルを確立

将来を見据えたロボタク等の 高度技術の開発・実装

複雑な条件でも走行可能な自動運転（ロボタク等）ビジネスの実現に向け**技術が高度化**、大規模展開により**事業化**へ

現 状

- ✓ 国内では複雑な交通環境を自由に走行できる自動運転車両の開発があまり進んでいない

課題例

開発資金、ソフトウェア人材等の不足

外資の開発プレイヤーの日本進出

公道走行経験の少なさ等による開発力不足

令和7年度地域新MaaS創出推進事業 公募概要

全体 テーマ

モビリティを活用した新たなビジネスモデルの実証

事業の ねらい

自動車関連産業の産業競争力強化（製造業者をはじめとする自動車関連事業者の既存事業強化や新規事業創出）に資する取組を推進すべく、自動車関連事業者の積極的な参画や将来的な自動運転化適否の検証を重点的に後押しするものとし、以下に示す期待する成果のうち①②を特に重視する。

期待する 成果

以下のいずれか、もしくは複数の成果が期待される取組を対象とする（①②を特に重視）

- ① 完成車メーカー、部品メーカー、ディーラーなどの自動車関連事業者が新たなビジネス機会を主体的に創出する取組を実証し、想定される効果や乗り越えるべき課題などを検証すること
※応募主体が自動車関連事業者以外であっても、自動車関連事業者の積極的な関与が見込まれる場合であれば本成果を満たすと判断します
- ② 他の交通・異業種サービスと連携した新たなモビリティサービスのビジネスモデル実証を行い、サービスの受容性（そのサービスは利用者に受容されるか）及び将来的な自動運転化の適否（事業性・技術・社会受容性といった多角的な観点で自動運転化が適しているのか、あるいは有人での運行が適しているのか）を検証すること
※サービス・ビジネスモデルの実証が主であり、技術実証のための自動運転車両の運行経費は原則委託金の対象外となります
- ③ 法規制等の課題によりこれまで具体化が進んでこなかったサービス・ビジネスモデルを実証し、想定される効果や乗り越えるべき法規制上の課題などを整理すること
（モビリティ × 医療、観光、小売、物流、エネルギー、データ 等）
- ④ カープローブデータなどのモビリティデータを活用し、サービスの収支改善や新たな付加価値を創出するサービス・ビジネスモデルを創出し、想定される効果や乗り越えるべき課題などを検証すること
- ⑤ そのほか、目的に沿った新たなサービス・ビジネスモデルを創出し、想定される効果や乗り越えるべき課題などを検証すること

令和7年度スマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域（経産省事業）として5地域を選定



令和7年度地域新MaaS採択地域の実証概要

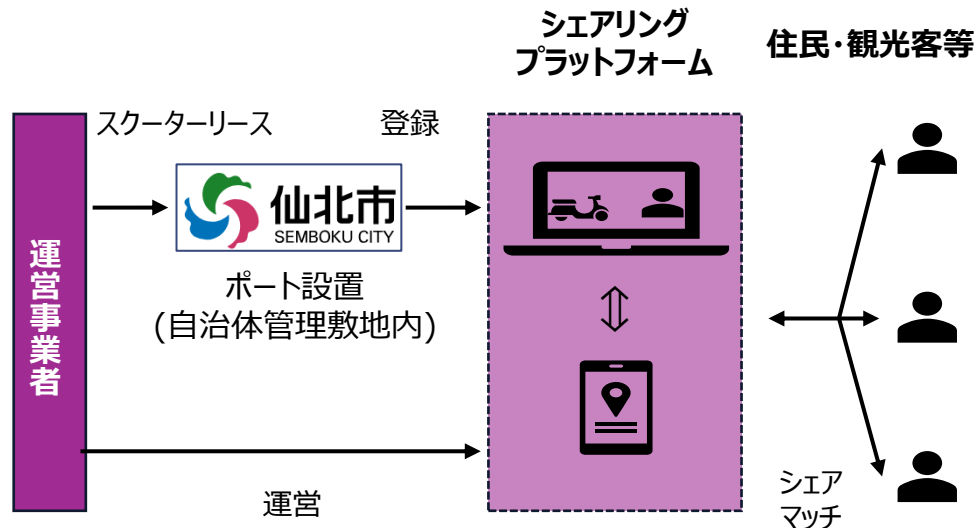
秋田県仙北市

「リースtoシェア」モデルを活用したモビリティのシェアリングプラットフォームの構築に向けた実証

実施主体：有限会社E・Gエンジニアリング

- 車両をオーナーにリースし、シェアリングによる収益化を可能にする「リースtoシェア」モデルを活用し、利用者ニーズや事業採算性を評価することを目指す。
- 本事業では、仙北市がリースするマイクロモビリティを対象に、住民・観光客双方にとっての有効性や回遊性向上・社会受容性や地域経済効果について検証する。

実証実験イメージ



神奈川県横浜市

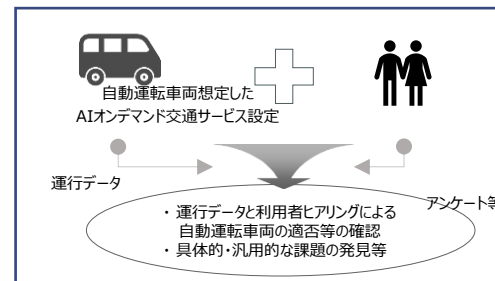
商業連携オンデマンドバスのビジネスモデル構築と自動運転化の適否の実証

実施主体：エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

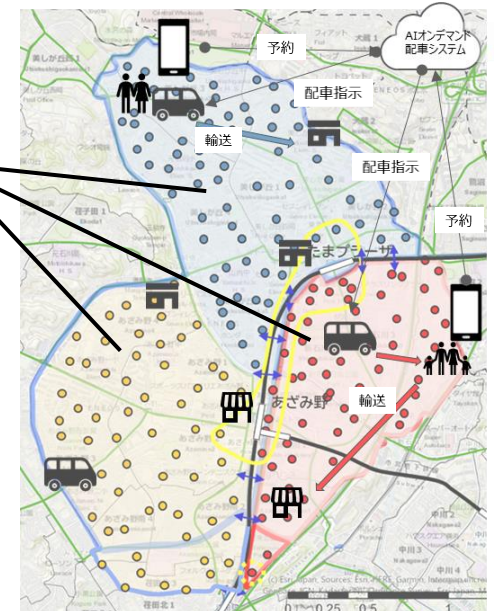
- 都市部におけるオンデマンド型乗合交通サービスの将来的な自動運転化適否について、一部の便の配車システムや運用を自動運転車両を想定した仕様に変更し、課題等を整理する。
- 市内3エリアで子育て世代を対象にサービス提供を行い、事業性や受容性の観点からビジネスモデルを検証。

実証実験イメージ

- ・市内3エリア（青葉区東部地区）の区域運行によるオンデマンド交通
- ・子育て世代に向けた施策を実施し、関係者と連携し運用



自動運転車両走行を想定した検証（案）



令和7年度地域新MaaS採択地域の実証概要

富山県富山市

次世代モビリティの提供による地域の利便性向上を通じたビジネス機会の創出と新たな事業モデルの実証

実施主体：一般社団法人トヤマチミライ

- **乗合マイクロモビリティのユースケースの創出**と、各種モビリティの提供を通じた**回遊促進策による富山駅北口エリアの賑わい創出**を目指す事業である。
- **自動運転を想定したモビリティを通じて、移動の利便性向上や賑わい創出の検証**を行うとともに、鉄道関連事業者等との連携による**賃料収入増等のビジネスモデル検証**を行う。

実証実験イメージ



スマートモビリティチャレンジ2025
自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト

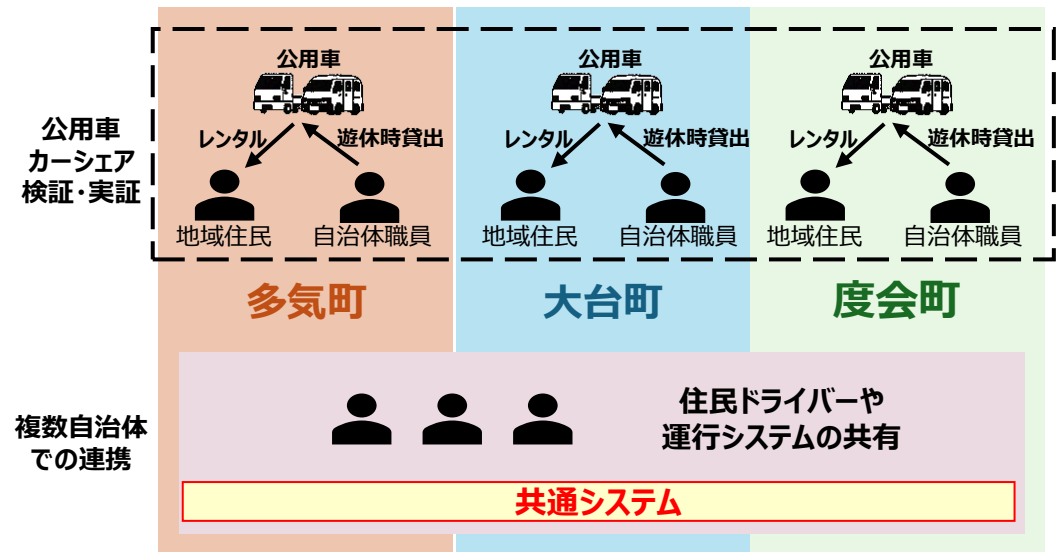
三重県多気町・大台町・度会町

複数自治体がシステムやドライバーを共有する地域連携型サービスの事業モデル構築に向けた実証

実施主体：三重広域連携スーパーシティ推進協議会

- 複数自治体・地域事業者が連携して、マイナンバーを活用した**データ連携を進め、運行システムやドライバーを共用し、住民共助による移動サービス**を目指す。
- **広域での日常生活圏の移動サービスの実証事業や、自治体公用車のカーシェア実証**を通じて、**地域ニーズや事業性の検証**を行うとともに、自治体、地域、民間企業による**事業モデル構築**を検討する。

実証実験イメージ



令和7年度地域新MaaS採択地域の実証概要

島根県大田圏域

複数医療機関による医療MaaS車両の 共同利用モデルの確立に向けた実証

実施主体：社会医療法人 仁寿会

- 複数医療機関での車両の共同利用及び運営・配車等
を地域の他事業者が行う事業モデルの確立を目指す。
- 医療MaaS車両の共同利用により車両の稼働率を高めるとともに、運用主体のコスト負担を軽減する共同利用モデルの確立について総合的に検証する。加えて、小型車両・大型車両による運行範囲・収支構造の比較や自動運転適否を検証する。

実証実験イメージ

